

第 13 回「対日直接投資推進会議」

議事概要

（開催要領）

1. 開催日時：令和 7 年 6 月 2 日（月）12:15～12:30
2. 場 所：中央合同庁舎 8 号館 共用 C 会議室
3. 出席者：

＜政府側＞

赤澤 亮正	内閣府特命担当大臣（経済財政政策）（主宰）
瀬戸 隆一	内閣府副大臣
西野 太亮	内閣府大臣政務官
穂坂 泰	内閣府副大臣（規制改革担当）
英利 アルフィヤ	外務大臣政務官
加藤 明良	経済産業大臣政務官

（他、内閣官房新しい地方経済・生活環境創生担当、内閣府地方創生担当、金融庁、総務省、法務省より事務方出席）

＜アドバイザー＞

石黒 憲彦	独立行政法人日本貿易振興機構	理事長
マークウス・シュールマン	在日ドイツ商工会議所専務理事／駐日ドイツ商工特別代表	
神保 寛子	西村あさひ法律事務所・外国法共同事業	パートナー
高島 宗一郎	福岡市長	
菰田 正信	三井不動産株式会社	代表取締役会長
（代理 一般社団法人日本経済団体連合会 森田 清隆 国際経済本部長）		

（議事次第）

- 1 開会
- 2 議題 対日直接投資促進プログラム 2025（案）について
- 3 閉会

（説明資料）

- 資料 1 対日直接投資促進プログラム 2025（案）
資料 2 対日直接投資促進プログラム 2025（案） 仮訳
資料 3 村井 全国知事会会長提出資料

(配付資料)

配付資料 1 対日直接投資推進会議の開催について

配付資料 2 海外からの人材・資金を呼び込むためのタスクフォースの設置

(概要)

○事務局 では、ただいまから、第13回「対日直接投資推進会議」を開催いたします。

開会に当たりまして、赤澤大臣から御挨拶をお願いいたします。

○赤澤内閣府特命担当大臣 本日は、お忙しい中、対日直接投資推進会議に御出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

人口減少に直面する我が国において、成長型経済への移行を確実なものとするために、対日直接投資を拡大をし、海外活力を積極的に取り込むことは、必要不可欠であると考えております。先日、4月21日の経済財政諮問会議では、石破総理から私に対し、世界経済の先行きの不透明性が高まる中であって、対日直接投資を促進するよう御指示があったところです。

こうした中、米国のアマゾンウェブサービスのCEOが石破総理を表敬訪問した際に、同社として我が国において2027年までに約2兆3000億円の追加投資を行うということを表明されました。今、まさに日本が有力な投資先として注目されています。改めてTSMCのことを申し上げるまでもなく、いろいろな意味で本当に旬な課題が対日直接投資の推進ということだと思います。

本日は、政府として対日直接投資の拡大になお一層強力に取り組んでいくため、対日直接投資促進プログラム2025の案をお示しをし、皆様から御意見をいただいた上で、最終的に取りまとめにつなげてまいりたいと考えております。

活発な御議論をお願いをして、開会に当たっての私の御挨拶といたします。よろしくお願いいたします。

○事務局 ありがとうございました。

では、プレスの皆様は御退席をお願いいたします。

(報道関係者退室)

○事務局 それでは、議事に入ります。

本日の議題である対日直接投資促進プログラム2025の案につきまして、概略を御説明いたします。

まず、現行の推進目標、すなわち2030年に対日直接投資残高を100兆円とするという目標につきましては、これを上方修正いたしまして、2030年に120兆円、2030年代前半のできるだけ早期に150兆円とすることを目指すとしております。

続きまして、具体的な取組といたしまして、5本柱・32の施策をまとめております。第1の柱といたしまして、地域への波及効果が大きい外国企業の工場等の誘致を主眼とする

新規投資・二次投資の促進、第2の柱といたしまして、1番目の柱の内容に加えました投資促進策として投資環境の整備、第3の柱として、ビジネス環境・生活環境の整備、第4の柱として、対日直接投資ビジネスを支えるアジア等の高度人材の確保、第5の柱として、広報・プロモーション活動の強化を掲げております。

本日、本文の英語版も早々に作成いたしましたので、しっかり広報にも取り組んでまいります。

プログラム説明は以上でございます。

それでは、本プログラムにつきまして、アドバイザーの方々から御意見をいただきます。御発言は1分以内でお願いいたします。

まず、石黒理事長からお願いいたします。

○石黒理事長 JETRO理事長の石黒でございます。

大臣からもお話がございましたが、TSMCの進出をきっかけに、35社程度台湾企業の誘致に取り組んでおります。そういう意味では、こうした戦略的な企業を誘致することの波及効果の大きさは大変実感しております。私どもはこれからもさらに体制を整えて、アーステージの段階から、戦略企業の誘致に努めてまいりたいと思っております。

以上でございます。

○事務局 ありがとうございます。

続きまして、シュールマン専務理事からお願いいたします。

○シュールマン専務理事 皆様、こんにちは。

日本は今もなお、世界の投資家にとって非常に魅力的な投資先となっておりますが、海外からの直接投資をさらに増やすには、幾つかの障壁を取り除く必要があります。

第1に、金融オンボーディングの改善です。外国企業・法人は、銀行口座の開設や信用の取得に困難を感じています。明確な法規制によるものではありませんが、一部の銀行では、一定期間の在留が求められたり、クレジットカードの申請が却下されたりするケースが多くあります。

第2に、ビザの審査プロセスです。経営層や技術専門職を含め、ビジネスや就労ビザの発給に遅れが生じており、企業活動に支障を来しています。ビザの審査を迅速化することが急務です。

第3に、規制改革の加速です。日本は医療機器、製薬などの分野で海外の認証や基準の受入れを進めるべきです。

そして、最後に、規制手続の一元化と合理化、英語での許認可申請手続の対応、デジタルインフラの強化と地方でのイノベーション支援など、ビジネス環境全体の整備を進めることが必要です。

これらの改革が進めば、日本は国際ビジネスに開かれていることをさらに強く発信できると思います。

ありがとうございます。

○事務局 ありがとうございました。

続きまして、神保弁護士からお願いいたします。

○神保弁護士 おまとめいただきまして、ありがとうございました。

タスクフォースから参加させていただきましたが、関係省庁の方にも御尽力いただき、KPIを意識した非常に力強い内容の本プログラムになっていると感じております。目標設定しておりますので、期限ごとに達成度を確認しながら着実に実行いただければと思っております。

また、タスクフォースでも複数の委員の方から御指摘があったとおり、投資環境ですとか事業環境、優秀な研究者や学生の流動化の状況が非常に速いスピードで変化していますので、状況に応じてこのプログラムの目的にかなうアクションを臨機応変に取る仕組みをつくっていただければと思っております。

また、今回新たに設定された対日直接投資残高の目標、非常に意欲的な目標だと思っておりますが、M&Aを通じた対日投資の活性化も重要になると理解しています。法律家の観点から、経済安全保障の観点からの外為法の審査がM&Aの中では行われます。ただ、これが過剰な規制となってしまっていて、海外の投資家から日本への投資は煩雑だとか、スピーディーに実行できないと捉えられてしまったり、事業シナジーの創出ができないということで、日本の企業にとっての事業成長が抑制されてしまうということがないように、審査についてはぜひ適切にリスク対応しつつも、迅速で合理的な審査と運用をお願いしたいと思っております。

以上です。

○事務局 ありがとうございました。

続きまして、高島市長からお願いいたします。

○高島市長 福岡市の高島でございます。

福岡市の銀行口座開設手続の迅速化なども盛り込んでいただきまして、ありがとうございました。

1点だけ今日御紹介させていただきたいのは、海外から投資を呼び込む上で、目に見えない日本ならではの暗黙のルールをなくしていかないとこれは非常に大変だという1個事例があったので、御紹介させていただきます。

シンガポールから福岡市がユニコーン企業を誘致したのです。せっかく来てくれたと。ここは高い技術を持っていて、海外では企業向けに高額な資金移動の実績もある企業だったのですが、結局資金移動業の金融ライセンスの相談を始めて3年以上たっても取得のめどが立たないということで、実は撤退するという報告を受けたのです。100万円以下の少額が扱えるライセンスを取得して、その状況を見てから次のステップの申請をするようにみたいなことを国から要請されたそうなのですが、そもそも海外と違って申請の基準が明示されていない、申請のやり取りに膨大な時間がかかる、かつ日本語での対応が必要ということで、計画的にビジネスが進められないということで、今回そういった御報告を受けた

のです。

今、福岡市として金融・資産運用特区になっているので、こうした状況を受けて、海外での実績を考慮してライセンスの取得を免除したり、簡素化することをお願いしたのですが、こういったことも実現に至っていないということがあったので、こういうプログラムとしてせつかく来てもらうのですけれども、来た後に明示されていないルールの中で活躍できない状況は何かしないと、せつかく来てもらっても帰ってしまうということになること、御報告させていただきます。

以上です。

○事務局 ありがとうございます。

続きまして、菰田会長の代理といたしまして、森田本部長からお願いいたします。

○森田本部長 経団連の森田でございます。

私からはこのプログラム案の5ページのスタートアップについて、お話しさせていただきます。

ここに書かれておりますように、外国のスタートアップに日本へ投資していただくことも非常に重要なことだと考えております。実際に経団連の取組を御紹介申し上げますと、経団連では、スタートアップと、大手企業を中心とした経団連の会員企業とのマッチングの場を提供しております。ぜひ外国のスタートアップにもその場に参加していただければと思います。

私からは以上でございます。

○事務局 ありがとうございます。

なお、全国知事会からは書面にて御意見を頂戴しております。

いただいた指摘は、今後のフォローアップの際にも課題とさせていただきたいと考えております。

続きまして、政府側から発言をお願いいたします。

まず、穂坂内閣府規制改革担当副大臣からお願いいたします。

○穂坂内閣府副大臣 日本経済の継続的成長や地域経済の活性化に資するため、今後も投資や人材を我が国に呼び込むための環境整備となる規制制度改革、こちらを進めてまいります。

具体的には、国土の4分の1以上を占める所有者不明土地について、工場建設などの有効活用のため、所有者探索の迅速化を図ってまいります。また、海外投資家がオンラインで参加できるバーチャルオンリー株主総会の活用や、円滑な人材獲得を可能とする株式報酬の拡大のため、会社法改正に向けた議論も進めてまいります。次期プログラムや先般決定されました規制改革推進会議の答申も踏まえて、関係省庁と連携を取りながら、引き続き対日直接投資の推進に貢献してまいりたいと考えています。

○事務局 ありがとうございます。

続きまして、外務省英利アルフィヤ大臣政務官からお願いいたします。

○英利アルフィヤ外務大臣政務官 本日はありがとうございます。外務省を代表して発言させていただきます。

外務省は、関係府省庁・機関と連携し、世界11か所に設置したFDIタスクフォースでの取組をさらに強化することで、対日直接投資の促進に貢献してまいります。具体的には、11拠点における誘致活動の新たな目標件数を設定した上で、拠点を活用して、現地企業と日本の地方をつなぐ取組を含め、積極的な働きかけを実施してまいります。

ありがとうございます。

○事務局 ありがとうございます。

続きまして、経済産業省加藤大臣政務官からお願いいたします。

○加藤経済産業大臣政務官 経産省でございます。

日本が高付加価値型の経済産業構造に転換し、持続的成長を達成するためには、日本の投資先としての立地競争力を高め、世界の優れた企業・人材を呼び込むことが極めて重要でございます。

本プログラムに基づきまして、経済産業省としましても、海外企業を戦略的に誘致するための新たな体制をJETROに設け、関連省庁や地域と連携し、GX、DX、ライフサイエンスなどの戦略分野における有望企業の誘致活動を強化してまいります。

以上でございます。

○事務局 ありがとうございます。

それでは、一通り御発言をいただきました。

ここで、対日直接投資促進プログラム2025の案につきまして、対日直接投資推進会議決定としてよろしいでしょうか。

（「異議なし」と声あり）

○事務局 ありがとうございます。

では、最後に、赤澤大臣から締めくくりの御挨拶をお願いいたします。

○赤澤内閣府特命担当大臣 本日も活発な御議論をいただきまして、誠にありがとうございました。

先生方からのアドバイスは大変的確なものであり、高島市長の心配にもちゃんと応えていけるような、そういう方向性を出していきたいと思います。

本日、対日直接投資推進会議が決定させていただいたプログラムのポイントは、今度策定する骨太方針2025に反映をしております。私自身が骨太方針の担当閣僚ですので、しっかり反映させたいと思います。

その上で、関係省庁一体となって関連する施策を総動員をして、対日直接投資の拡大、そして成長型経済の実現につなげてまいりたいと思っています。

関係府省庁におかれては、今後、プログラムに沿った令和8年度の概算要求や制度改正等を御検討いただき、できるだけ早期に施策を具体化する、そのことで2030年に120兆円の対日直接投資残高とするという目標を確実に達成するため、実際の成果につなげるよう、

積極的な取組をお願いいたします。

有識者の皆様におかれては、引き続きの御指導、お力添えを心からお願い申し上げます。

本日は誠にありがとうございました。

○事務局 ありがとうございました。

以上をもちまして、本日の会議を終了いたします。ありがとうございました。